

12月21日の当社ファンドの基準価額下落について

【基準価額下落率5%以上のファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	騰落率
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）【愛称：エマテック】	5,308円	-363円	-6.40%
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド（予想分配金提示型）【愛称：エマテック】	5,333円	-363円	-6.37%
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン（年2回決算型）	10,992円	-630円	-5.42%
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン（毎月決算型）	8,517円	-488円	-5.42%
J P X日経400アクティブ・オープン 米ドル投資型【愛称：J P Xジャスト】※	11,307円	-620円	-5.20%

※「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ニッセイ・ジャパン・エクイティ・アクティブ・ファンド（適格機関投資限定）米ドル・クラス/カバード・コール・クラス」を主な投資対象としており、本日の基準価額は前営業日（12月20日）の株価水準、為替水準（WMロイター）が反映されています。

市場の動向

12月20日のJ P X日経インデックス400（配当除き）は前日比-1.47%、新興国株式市場は前日比-0.69%、オーストラリアリート市場は前日比-3.76%となりました。

日銀が19～20日まで開いた金融政策決定会合で、長期金利の許容変動幅を±0.25%から±0.5%まで拡大することを決定したことを受け、国内長期金利は一時0.460%と、2015年7月以来の高水準まで急上昇し、内外金利差の縮小が意識され円高が進行しました。

国内株式市場では金利上昇が嫌気されたハイテク株や輸出採算への悪化懸念から輸出関連株を中心に売られました。

海外市場では事実上の利上げと受け止められ、欧米のみならず新興国の長期金利が軒並み上昇したことから、金利上昇時に相対的な割高感が意識されやすいテクノロジー株を中心に売られました。金利上昇による悪影響を受けやすいオーストラリアリートも大きく下落しました。

為替市場では、日銀の決定を受け、日米金利差が縮小するとの見方から内外金利差の縮小を意識した円買い・海外通貨売りが急速に進んでいます。米ドル円相場は一時、1米ドル=130円台前半と8月上旬以来の円高・米ドル安水準となり、対オーストラリアドルでも円高・オーストラリアドル安が進みました。

		12月15日	12月16日	12月19日	12月20日	12月21日
株式	JPX日経インデックス400	17,833.35	17,603.22	17,467.97	17,210.56	17,119.20
	対前営業日比	-0.25%	-1.29%	-0.77%	-1.47%	-0.53%
	フィラデルフィア半導体指数	2,661.41	2,636.10	2,599.86	2,583.64	-
	対前営業日比	-4.17%	-0.95%	-1.37%	-0.62%	-
REIT	MSCI エマージング・マーケット・インデックス 米ドルベース	960.22	957.30	957.64	951.08	-
	対前営業日比	-1.39%	-0.30%	0.04%	-0.69%	-
為替	S&P ASX300A-REIT	1,398.40	1,398.70	1,383.20	1,331.20	-
	対前営業日比	-0.94%	0.02%	-1.11%	-3.76%	-
	米ドル/円レート（円） （対顧客電信売買相場仲値）	135.48	137.73	136.22	134.54	131.78
	対前営業日比	-0.01%	1.66%	-1.10%	-1.23%	-2.05%
為替	豪ドル/円レート（円） （対顧客電信売買相場仲値）	93.05	92.25	91.27	90.11	88.06
	対前営業日比	0.63%	-0.86%	-1.06%	-1.27%	-2.27%
	米ドル/円レート（円） （WMロイター）	137.54	136.67	137.00	131.42	-
	対前営業日比	2.00%	-0.64%	0.24%	-4.07%	-

※株式・REIT ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成
 為替 対顧客電信売買相場仲値のデータおよびロンドン16時のWMロイターのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料に記載されている投資リスク、ファンドの費用等を必ずご覧ください。

●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、

その発行者および許諾者に帰属します。
 < 22-TD-S163 >

ニッセイアセットマネジメント

【ご投資にあたっての留意点】

- 当資料は、ファンドに関連する情報および運用状況等についてお伝えすることを目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。金融商品取引法等に基づく開示資料ではありません。

【投資信託に関する留意点】

- 投資信託はリスクを含む商品です。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）はすべて投資家の皆様のものとなります。元本および利回りが保証された商品ではありません。
- ファンドは値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドは投資元本の保証や一定の成果は約束されておられません。ファンドの基準価額に影響を与える主なリスクは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。
- 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますので、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。運用状況によっては、分配金をお支払いできない場合もあります。また、分配金は投資信託財産からお支払いしますので、基準価額が下がる要因となります。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金と異なり、保険契約者保護機構、預金保険の対象となりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払い対象にはなりません。
- ご購入の際には必ず取扱販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、内容をご確認の上ご自身でご判断ください。

【手数料等】

【投資者が直接的に負担する費用】

- 購入時・・・購入時手数料 上限3.85%（税込）
信託財産留保額 上限0.03%
- 換金時・・・信託財産留保額 上限0.5%

【投資者が信託財産で間接的に負担する費用】

- 毎日・・・運用管理費用（信託報酬） 上限年率2.97%（税込）、監査費用 上限年率0.011%（税込）
- 随時・・・その他費用・手数料（上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。目論見書等でご確認下さい。）

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ニッセイアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく目論見書をご覧ください。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

<設定・運用>

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター 0120-762-506
9:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会